ぶるべー スタジオ　機能と使い方のご案内

小平市マスコットキャラクタ「ぶるべー」3Dスタジオ（確認用）／作成: 安竹洋平

ぶるべーの3Dモデルを、ブラウザで自由に動かして画像を作れる「ぶるべー スタジオ」を作りました。

このスタジオの内容と、利用者にお示しする予定の注意書きを、次のとおりまとめました。もし「この機能はNG」「この使い方は困る」という点があれば、お知らせください。機能の削除など対応いたします。

- **想定している使い方**（「1. 想定している使い方」）
- **利用者へお示しする注意書き**（「2. 利用者への注意書き」）
- **主な機能**（「4. 機能一覧」）

1. 想定している使い方

このスタジオは、次のような使われ方を想定しています。

- 不特定多数の方が、ぶるべーのモデルを自由に使い、ポーズを変えたり表情をつけたりして、画像として保存する。
- 保存した画像を、SNS への投稿、チラシ・ポスター・スライドなどの資料に活用する。
- 小平市の名所や自分で作ったジオラマを撮影し、その写真の中に小さなぶるべーを配置して「ぶるべーを探せ！」として SNS に投稿する。
- 小平市の名所を紹介する図や案内などに使う。
- 小物（ベッド・布団・演台・マイク・看板など）や背景を組み合わせて、場面を組み立てる。
- 眼鏡やサングラス、帽子や服（未実装）を装着して、コスプレのように使う。

ほかにも、次のような使い方が考えられます（案）。

- 自治会・学校・イベントのチラシ、ポスター、お知らせづくり。
- 会議資料やスライドの挿絵（市の事業や行事の紹介）。
- 卒業・入学・季節のあいさつ状など、行事に合わせた画像づくり。
- SNS のアイコンやヘッダ画像。
- クイズや塗り絵など、教材・レクリエーションへの活用。

「ぶるべーを探せ！」の例

小平市の名所や自分で作ったものをたくさんの人に見てもらいたいときは、ぶるべーを写真の中にこっそり紛れ込ませて、SNS で見つけてもらう、という使い方ができます。



自分で作ったジオラマの中に、小さなぶるべーを紛れ込ませた例



別のジオラマを使った例



小平市の名所の写真に、小さなぶるべーを入れた例

2. 利用者への注意書き

スタジオを開いたとき、利用者に次の注意書きを表示します。この内容に問題がある場合も、お知らせください。

> このスタジオは、市政・政治活動とは関係のない個人的な制作物です。
>
> このスタジオで作成した画像などは、SNS への投稿を含め、自由に使っていただけます。ただし、商用利用やそのほか特殊な使い方をされる場合は、小平市の確認が必要ですので、このサイトのお問い合わせからご連絡ください。
>
> 次のような使い方はご遠慮ください。
>
> - 公序良俗に反する目的での利用
> - ぶるべーのイメージを損なうような利用（たとえば、攻撃的・差別的・性的・過激な利用、誹謗中傷など）
> - 反社会的勢力や違法行為に関わる利用
> - 政治的意図があるように見える利用（例：ぶるべーが特定の政治家や政党を応援しているような表現）
> - 特定の宗教・宗派への勧誘や布教と誤解される利用

- 小平市が公認・推薦・後援しているように見える利用（市の公式発表や公文書と誤認させる利用を含む）
- 特定の企業・商品・思想・団体を、ぶるべーや小平市が推薦・保証しているように見える利用
- 個人や団体への誹謗中傷、プライバシーの侵害、なりすまし

ぶるべーはしゃべらない、というのが小平市としてのルールです。そのため、このスタジオには、ぶるべーがしゃべる（セリフやフキダシを出す）機能はありません。利用時も、ぶるべーにはしゃべらせないようお願いいたします。

ぶるべー（キャラクタ）の著作権は小平市に帰属します。

このスタジオで使用している3Dモデルは、作者（安竹洋平）が自作したものです。モデルそのものの再配布・再利用はご遠慮ください。

3. 使い方（簡単に）

1. スタジオ（/bluebey-studio/）を開きます。
2. 右側（スマホでは下側）のパネルで、タブ「ポーズ／顔／見た目／シーン／書き出し」を切り替えながら、ポーズや表情を作ります。
3. 最後に「書き出し」タブから PNG を保存します。

パソコンでの操作

- ぶるべーをつかんでドラッグすると、姿を変えずに移動できます。向きはマウスで調整します。
- モデルをクリックすると、その場所に近いボーンが選ばれます。
- 「元に戻す／やり直す（パネル上部の矢印アイコン）」「すべてをランダムに（？！アイコン）」は、どのタブでも使えます。

スマホでの操作

- **2本指でぐりぐり**：見ている基準点を動かします（ぶるべーは基準点から動きません）。
- **2本指でつまむ**：ズーム（寄る／引く）。
- **ぶるべーの上で1本指でぐりぐり**：ぶるべーを基準点から動かします。上下に動かすと高さも変わります。
- **何もない所で1本指でぐりぐり**：カメラが回ります。
- パネル（下のシート）は、上の横線（ハンドル）をドラッグすると上下に動かせます。メニューの外側をタップすると閉じます。

キーボード（パソコン）

- S PNG保存　C 画像をコピー　Tab パネルの表示切替　? ヘルプ
- 1–5 カメラの向き　R ポーズをリセット　G 回転ギズモ　Space 生きている演出の開始/停止

4. 機能一覧

ポーズ

メニュー	できること
ポーズ例	立ち・きおつけ・おじぎ・ふかくおじぎ・くびかしげ・てをふる・ばんざい・のびをする・ジャンプ・大ジャンプ・おどる・こてん・ねている・よこむき・うしろむき・右を紹介・左を紹介（17種類）
全身とボーンのスライダー	ボーンを選び、よこ（X）・たて（Y）・ねじり（Z）で関節を回せます。こまかい設定に、よこ移動・たて移動・おくゆき・回転ギズモの表示があります。
うごき	とまる／歩く／てをふる などの自動の動きに加え、「まばたきする」「ゆれる」「自動で回す」の切り替え。速さや間隔も変えられます。
操作（タブ最上部）	このボーンを戻す／ポーズを全部戻す／少しランダムに

顔

メニュー	できること
プリセット	ふつう・にっこり・たべている・ウインク・びっくり・ねぼけ・てれ・じと目・すき・むっと・ないてる（11パターン）
目	左右を連動させる／左右別々に設定。目の形は「ふつう／1線／2線／3線／3の目／わらう／ハート」。上まぶた・下まぶたの高さ、まぶたの形（曲線・直線）と太さ・傾き、まつげ（角度・位置）、白目を出す、光彩（瞳の白い丸）を出す、瞳・形の大きさ、目線（パッドをドラッグ）、涙を出す、ハートの色。
見る先	指定した場所を見る／目線がうごく／端末を傾けて見る
口	口の形は「ふつうの口／丸く開く（O）」。曲げ・長さ・幅・太さ・開き・傾き・高さ、口角（角度・長さ）、舌（大きさ・位置）、色。

眼鏡・サングラス	コスプレの一種として、眼鏡やサングラスをかけられます。フレームの太さ・色、レンズの色・濃さ、左右レンズの間隔、大きさ・高さ・傾き。
鼻ちょうちん	鼻ちょうちんを出す／出さない。大きさ・よこ位置・高さ・おくゆき・色。
帽子	なし／シルクハット／キャップ／コック帽／消防士。大きさ・位置・前後の傾き・左右の傾き。
タブ最下部	顔をランダムに／顔をリセット

見た目

メニュー	できること
スタイル	リアル／フラット／線画を切り替え。輪郭線を出す、線の太さ（体・手足、葉っぱ・鼻）、線の色、紙の色。「プリセットのスタイルに戻す」。
見た目の調整	左右反転、影を落とす、足もとの丸い影、接地影だけ、環境の映りこみ、明るさなど。「プリセットに戻す」。体の色を変える機能はありません。

シーン

メニュー	できること
背景	背景の色、自分の画像、単色、透明、写真背景（倉庫・広間・空と雲・秋の公園・学校・社長室・砂漠・海岸・無人島・土管のある空き地・宇宙船の中・廃工場の食堂・地下室のリング・自動車工場・路地）、効果線（集中線・楕円集中線など）。「この背景で写真を撮る」。
小物	演台・机・マイク・看板・観葉植物・段ボール箱・空いた缶詰・ベッド・布団・コップ・鉛筆・ノート・消しゴムを追加。看板には文字を入れられます。大きさ・位置・回転（X/Y/Z）。
擬音（マンガのオノマトペ）	画像から四角く切り出した擬音のスタンプを画面に貼れます。この機能は未実装ですが、想定しているオノマトペは、「グーグー」「zzz」「シーン」「ゴゴゴ」などです。ぶるべーがしゃべっていると思われるような擬音は作りません。
見えない壁	見えない板（有限の壁1・壁2）を置くと、その向こう側が隠れます。ぶるべーを壁に埋め込むと、体の一部だけが見えます。

画面・光	ひかり（光の向き・明るさ・環境光・光の色・環境光の色・露光）、照明の種類（スタジオ（明るい）／室内（自然な反射）／なし（のっぺり））、カメラ（見る高さ・向き・自動で回す・収める・正投影・遠近）。
画面の情報	描画の状況（大きさ・品質・fps）の表示。

書き出し

メニュー	できること
画像	PNGの大きさ（1〜4倍）、PNGの背景を透明にする、PNGを保存、クリップボードにコピー。
まんが	今の状態をコマとして追加し、列数・大きさを選んで、まんが（コマ割り）として書き出します。
共有	画像をシェア、Xで投稿、Facebookでシェア、この見た目のリンクをコピー。
設定	設定を保存（JSON）／設定を読み込む。

画像の保存は現在PNGのみですが、JPG形式での保存にも対応する予定です。

「元に戻す」「やり直す」「すべてをランダムに（？！）」は、どのタブを選んでいてもパネル上部に表示されます。

5. もし問題がある場合

上記の使い方や機能のうち、「これは避けてほしい」「この機能は外してほしい」というものがあれば、お知らせください。こちらで、その機能の削除や調整などの対応をします。

特に、次のような機能は、念のためお伝えしておきます。

- 眼鏡・サングラス（コスプレの一種としてかけられる）
- 目の表情（じと目・わらう・ハート・涙・まつげ・白目など）
- 口の表情（舌を出す表現を含む）
- 帽子（シルクハット・キャップ・コック帽・消防士）
- 鼻ちょうちん、倒れるポーズ（こてん・ねている）
- 小物（ベッド・布団など）
- 背景、擬音（マンガのオノマトペ）、見えない壁、まんが

このページは、公開前の確認用です。

お問い合わせは、安竹洋平のサイトのお問い合わせフォーム（/contact/）までお願いします。